

## 1 適用範囲

本資料は、ICTによる地盤改良工（以下「地盤改良工（ICT）」という。）のうち、粘土、シルトおよび有機質土等の地盤を対象として行う軟弱地盤処理工のうち PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））に適用する。なお、サンドマット施工後の打設を標準とするが、プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機を湿地型としているため、敷鉄板については敷設しないことを標準とする。

## 2 機械経費

### 2-1 機械経費

PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））の積算で使用する ICT 建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。

なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」によるものとする。

#### ① PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））

ICT建設機械名	規格	機械経費	備考
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	[ベースマシーン]湿地型 打設長 30m 以下 [施工管理装置]	損料にて計上	ICT 建設機械経費加算額は別途計上
	[ベースマシーン]湿地型 打設長 30m を超え 40m 以下 [施工管理装置]		

### 2-2 ICT 建設機械経費加算額

ICT 建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器および地上の基準局・管理局の賃貸費用とし、2-1 機械経費で示す ICT 建設機械に適用する。

なお、加算額は、以下のとおりとする。

#### (1) PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））

対象建設機械：プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機

損料加算額：48,000 円/日

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times$$

### 2-3 その他

ICT 建設機械経費等として、以下の各経費を共通仮設費の技術管理費に計上する。

#### 2-3-1 保守点検

ICT 建設機械の保守点検に要する費用は、次式により計上するものとする。

#### (1) PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））

$$\text{保守点検費} = \text{土木一般世話役(円)} \times 0.05(\text{人/日}) \times \text{施工日数(日)}$$

(注) 施工日数は、実際に ICT 施工による施工を行った日数とする。

#### 2-3-2 システム初期費

ICT 施工用機器の賃貸業者が行う施工業者への取扱説明に要する費用、システムの初期費用等、貸出しに要する全ての費用は、以下のとおりとする。

#### (1) PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））

対象建設機械：プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機

費用：1,150,000 円／式

### 3 3次元起工測量・3次元設計データの作成費用

3次元起工測量・3次元設計データの作成を必要とする場合は、共通仮設費の技術管理費に計上するものとし、必要額を適正に積み上げるものとする。

### 4 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用

PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））における、ICT 建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率および現場管理費率に含まれる。

## 5 土木工事標準積算基準書に対する補正

### 5-1 単価表の補正

積算基準の「6. 単価表（1）PVD 工 100 本単価表」にて建設機械に取付ける各種機器および地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT 建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。

名称	規格	単位	数量	指定事項
ICT建設機械経費加算額		日	$100 \times T_c / 60 \times T$	機械損料数量 1.84

(注)  $T_c$ ：1本当り施工時間 (min/本)

$T$ ：プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機運転日当り運転時間 (h)  
=6.8 (h/日)

$L$ ：打設長 (m)

## 6 諸雑費

PVD 工法（旧ペーパードレーン工法（ICT））を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、ICT 建設機械経費加算額は含めない。